

バク通信

一四五号

令和三年五月十日発行

社会福祉法人「ゼノ」少年牧場

ゆめサポート・バク

福山市神辺町東中条7301-6

TEL(084)960-2256

TEL(084)960-2256

『バク自治会選挙』

生活支援員 若井 将史

春の穏やかな風を感じながら、新年度がスタートし2021年の自治会も始まりました。毎年最初に行うのは、自治会会長を決める選挙が定例となっています。

今年度は自治会会長立候補者を募った所、Oさん・Tさん・Sさんの3名の利用者が手を挙げられました。

それぞれの利用者さんの意気込みを盛り込んだ、選挙期間中に掲示するポスターをグループに分かれて利用者の皆さんで作りました。そこから選挙投票日(4月17日)までの選挙活動が始まりました。

選挙活動は昼休みや作業後に、立候補者と応援者が一緒に各部署へ行って演説をしたりと、立候補された3名の方達は自治会会長を目指して頑張っておられました。

中には、先ずれば人を制すとの考えで、毎日昼食後に各部署へ挨拶をしに行く立候補者もいたり、やる気に満ち溢れた選挙活動が繰り広げられました。選挙活動で挨拶まわりをしている立候補者に対して「頑張ってるね」「投票するからね」等、激励の言葉を送る利用者さんも多数おられました。いつもと違う動きで、他部署と交流が生まれるのも、バクの自治会会長選ならではの一面なのではないでしょうか。

前日の16日には、当日選挙に参加出来ない方(お休みや調理作業等の予定がある方)を対象に、期日前投票も行っていただきました。

17日当日は、立候補者の方も緊張からか、ソワソワと落ち着かない様子でしたが、最後の最後まで一生懸命演説されていた姿が印象的でした。

選挙の結果2021年度の自治会会長は、Oさんとなりました。コロナ過ではありますが、知恵を出し合い楽しく過ごせるように一年間、会長・役員の方達を支えていきます。



▲誰に投票しようかな？



『アルコジャーノのSNS事情』

目標工賃達成指導員 行廣 七海

初夏の陽気が顔をみせ始めている今日この頃、アルコジャーノでは連日移動販売用の製造を進めています。

先月から少しずつイベント販売が行なえるようになり、現在コロナの状況を見極めながらイベントに参加しています。去る4月24日の移動販売は「富谷公園」で、公園に遊びに来られるお客様や、道の駅に買い物に来られるお客様、福山市立動物園に来られたお客様が、よく足を運んでくれました。

その中でお客様に「ジェラート屋さんには次いつ来られるんですか?」「持ち帰りのジェラートはありますか?」と聞かれました。アルコジャーノを知らないお客様も気軽に移動販売の情報を知ることができるよう、ネット上での告知の必要性を感じました。

コロナ禍で外に向けた発信が疎かになっていたアルコジャーノのフェイスブックを、今月から復活させています! コロナの状況次第ですが、色々なイベントに参加していく予定です。各イベントの詳しい情報も写真と合わせてフェイスブックに載せていくつもりです。

また何気ない日常の一コマや、明日から使えるジェラートの雑学なども載せていたら良いかなと思っています。楽しいフェイスブックにしていきたいので、是非チェックしてみてください!



再開をお待ちください

富谷公園での販売は、新型コロナウイルス感染症防止緊急対処を受けて全て中止となりました。ご了承ください。



『厨房設備更新に向けて』

生活支援員 柴垣 瑞穂

いよいよ六月よりHACCPの完全義務化がスタートします。(衛生管理の見える化です)

それに関連して十人十色の厨房設備の一部を整備・更新するための準備を進めているところです。何を整備していくかと言いますと、バク開設当初から使用しているガスコンロの老朽化が進んでいるのと、ご注文いただいている日々の食数増に対応すべく、3つ口から5つ口のガスコンロに入れ替えを検討しています。5つ口になることにより調理中のガスコンロ待ちが解消され効率よく製造が進められる予定です。

それとこちらも開設時に整備し現在は使用していないスチームコンベクションオーブンの撤去です。撤去した後空いたスペースには作業台の増設を検討しています。デットスペースを有効活用することで調理器具の収納場所が作れると考えています。

設備更新をして終わりではなく、常日頃より清掃丁寧にし、綺麗な環境での製造を心がけ、安心・安全なお弁当をお届けできるように努めてまいります。

整備・更新を終えましたら後日、このバク通信でご報告させていただきます。



▲ガス台



▲スチコン



おつかれ
さまでした!

『ウエス工場の作業環境の改善』

生活支援員 藤井 みゆき

ウエス工場内にある不用品を片付け、作業スペースを広く取って、安全に作業が出来るよう工夫を行っている様子を紹介させていただきます。

工場では照明の点検を行い、切れ掛かっている蛍光灯の交換や、長年の埃が溜まった照明の傘を掃除することで見えるほど、工場内が明るく安全な空間へと改善しました。

利用者の方々の作業の持ち場も変わり、今まで裁断作業だったSさんは「検針機作業」に、ボタン取り作業だったOさんは「たたみ作業」に、たたみ作業だったTさんは「裁断作業」へと持ち場を変える事で適正がマッチしたりと良い兆しが見えてきた様に感じています。

作業環境を整えることが、落ち着いて作業することに繋がり、お客様のご要望に素早くにお応えできるよう、ウエス班全員で頑張っていきたいと思っています。



▲長年の埃を取り除くと驚きの明るさに！



▲検針機は任せて！Kさん



▲丁寧にたたむよ！Oさん



▲裁断を頑張るSさん

『コロナ禍の野外活動』

サービス管理責任者 松岡 肖幸

新緑の匂い立つ好季節を迎え、吹き抜ける風が肌に心地よく感じられるころとなりました。療育班の野外活動で行った蛇円山での活動をご紹介します。

今回、初めて蛇円山の山頂まで登り(車で)ました。山頂は、駅家町をはじめ、福山を一望できる眺めとなっております。山頂に着くと、年配の男性が話しかけてこられました。

「沼隈から来たのですか？」と声をくださり、当法人をご存じの様子で、その後も利用者のみんなに優しく挨拶や声をかけてくださり、山での良い思い出となりました。その後は、しばらくみんなで景色を眺めながらゆったりと時間を過ごすことができました。

首都圏・関西圏での緊急事態宣言や県内ではじわじわとコロナの脅威は広がっています。そんな中でも、出来る活動は何かを模索しながら、こんな時だからこそ少しでも心豊かに過ごせる活動を考えていきたいと思っています。



▲山頂の看板です



▲とても綺麗な景色です！思わず叫びたくなりますね！

『ジャガイモの生育について』

副主任 大村 和弘

朝夕の気温差がある為、みなさま体調を崩されたりしていませんか？先月、ジャガイモの植え付けについてお伝えしましたが、そのジャガイモがどのように育っているか報告したいと思います。

4月に入ってから、ジャガイモの芽や葉が出てきて「良かった！」と思っていたのですが、突如ある事件が起こりました。みなさまは覚えていらっしゃるかもしれませんが、霜が降りたのです。ジャガイモは、霜にとっても弱い野菜です。霜が降りたことで、あちこちのジャガイモの葉の一部分が黒くなり、元気をなくしていました。いつも野菜のアドバイスをくれる方に相談し、畝の土に空気を含ませる等してみてはどうかとアドバイスを頂きました。

約1週間程度でジャガイモの新たな芽も出てきました。一安心しておりますが、またいつ何が起こるか分からないので、天気予報など見つけながらジャガイモを育てていきたいと思っています。



▲最初はとても小さな芽でした



▲畝間の草取りも頑張るよ！



▲すくすくと育っています

ゆめサポート・バクの取り扱い商品・作業の一部をご紹介します

十人十色の手作り弁当

毎日食べても飽きのこない家庭の味です。旬の食材を使用しています。



1食からお届けします。(配達エリア内に限ります)

480円(税込)

草刈り承ります!

ご相談
お見積り
無料

作業員一人
1時間 1,200円より(税別)



5月の予定

- 8日(土) 土曜開所
- 15日(土) 土曜開所
- 29日(土) 土曜開所

お弁当の注文・作業のお問い合わせは

→ 084-960-2256